



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



KUNIMOTO
MEDICAL
GROUP

現場から経営を変える

データ実践型インターンシップ

北海道大学 × くにもとメディカルグループ

くにもとメディカルグループでデータと経営を学ぶ、
大学院生向け共同研究プログラム

くにもとメディカルグループとは

医療・介護の現場をデータで読み解き、経営を一緒に動かしていきましょう。

くにもとメディカルグループは、1991年に北海道で創業した医療福祉グループです。病院・クリニック・介護施設・訪問系サービスを一体的に運営し、1,300名以上のスタッフが地域の医療と暮らしを支えています。「病院で治す」だけでなく、その後の生活まで見守るフィールドを持っているのが、私たちの特徴です。

良い経営判断は、現場を深く知ることから始まります。しかし「現場で何が起きているか」を、精度の高いデータとして経営に届けることは、実は簡単ではありません。このプログラムは、その課題を私たちと共に探索する共同研究プロジェクトです。用意されたデータを処理する作業ではありません。現場に入り込み、自ら課題を見つけ、データを組み立て、経営陣へ直接提言する—そのサイクルを、一緒に回していきます。

医療・福祉の専門知識は必要ありません。複雑な現場を観察し、パターンを見抜き、改善の仮説を構築できる—そういった思考を持つ人と、ぜひ挑戦したいと考えています。経営陣との距離が近い環境だからこそ、あなたの分析は意思決定に直結し、この地域の医療・介護の未来を少しずつ変えていきます。ぜひ一緒につくっていきましょう。

こんな人に、強く推奨します

将来、経営者・
マネジメント側に
立ちたいと考えている方へ
強くお勧めします。

医療・福祉への関心は問いません。

主体的に動き、本気でキャリアを切り拓こうとする意欲のある方のためのプログラムです。

01

良い経営判断は現場を知ることから始まる

何が起きているかを自分の目で確かめない人が、現場を動かす判断を下すことはできない。

02

地方中小企業だからこそ、経営の中枢に近い

大企業では若いうちに経営判断の現場に近づくことは難しい。ここでは提言が実際の経営に届く。

03

「データで経営を動かした」実績は業界を問わず武器になる

業界知識より、論理的な課題設定とデータ活用の経験が、あらゆるキャリアで差別化をもたらす。

なぜ、このフィールドなのか

くにもとメディカルグループは「経営課題の縮図」

くにもと メディカルグループ

フィールドワーク受入実施中

経営提言の機会を提供

データ活用の実践フィールド

人材

人材・業務の最適化

限られたスタッフで専門的ケアを継続するには、業務の可視化と効率化が不可欠。

差別化

地域で選ばれる差別化戦略

全国大手の介護事業者も北海道に参入する中、地域における施設の独自価値を確立できるか。

経営

データに基づく経営判断

公定価格の中で持続可能な経営を実現するための、根拠ある意思決定文化の構築。

デジタル活用が遅れているこの領域は、大学院生の研究力が貢献できる余白が大きい。

あなたに担ってほしいこと

「与えられたデータを処理する」のではなく、「自らデータを取りに行く」ことから始まる

STEP
1

定義する
(What)

現場を観察し
「何を測るべきか」
を設計する



STEP
2

収集する
(How)

フィールドに入り
自らデータを取得
・整形する



STEP
3

分析する
(So What)

可視化・解析し
課題構造を
明らかにする



STEP
4

提言する
(Act)

ケア改善や
施設経営戦略を
経営陣に提案する

経営の視点で現場を見る

現場を「経営の目線」で捉え直すことが、このプログラムの核心です

ケア品質

リハビリ成果の指標化

機能改善・活動量・QOL向上をデータで測定し、ケアの質を客観的に評価・改善する。

人材・業務

業務の可視化と最適化

スタッフの業務時間配分・タスク発生パターンを分析し、人材の効率的な活用を設計する。

経営・収益

持続可能な施設経営の設計

公定価格の制約の中で、コスト・人員配置・サービス設計を最適化し、安定経営を支援する。

地域戦略

地域で選ばれる差別化

リハビリ実績のデータを活用し、施設の独自価値を地域に伝えるための根拠を構築する。

プログラム詳細

期 間	6か月～12か月（応相談）
人 数	1～3名
形 式	現場フィールドワーク + 分析・提言作業
場 所	くにもとメディカルグループ 各施設
対 象	北海道大学・室蘭工業大学の大学院生（専攻不問）

1

2

3

4

経営陣への直接提言まで
一気通貫で体験する

地方の中小企業だからこそ、提案から実行までの距離が近い。大企業では若手が関われない経営の中核に、大学院生として入っていただけます。

このプログラムで得られるもの

01

データ実務力

収集から提言まで、
一気通貫の経験

現場でデータを取り、加工・分析し、経営陣に提言する。このサイクルを実際の現場で完遂することで、どの業界でも通用するデータ実務力が身につく。

02

経営視点

現場を「経営の目」で見る習慣

現場を経営課題として捉え直す思考習慣は、業種を問わず将来のマネジメントに直結する。良い経営は現場を知ることから始まるという実感を得られる。

03

実績・差別化

就職・キャリアに直結する
プロジェクト実績

「自らデータを取りに行き、経営提言をした」経験は、就職活動・入社後・起業のいずれの場面でも、具体的な差別化ポイントになる。

プログラム責任者 マイケル



出身 マレーシア（5カ国語話せます！）

趣味 バドミントン、サイクリング

ひと言

一緒に楽しく挑戦しましょう！



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY



皆さまのご応募を お待ちしております。

北海道大学 × くにもとメディカルグループ
共同研究型インターンシップ

未来の医療・介護を、あなたの手で。